

人権啓発DVD一覧表

人権全般

| No | タイトル | 時間 | 主なテーマ | 製作年 |
|------------|--|--------------------|---------|-------|
| Pア-130-DVD | あなたの偏見、わたしの差別～人権に気づく旅～ | 36分 | 人権全般 | 2012年 |
| | <p>人権という言葉はよく耳にしますが、自身の問題として考える機会は少ないのではないのでしょうか。少し視野を広げてみれば、さまざまな人権に関する問題や課題があるのです。本作では人権問題に興味をもつ若者たち4人に集まってもらいました。彼らが気づき、体験し、感じたことは、まさに人権に向き合うための旅とも言えます。4人の中で深まっていく議論とそれぞれの意見は、人権問題を考えるための確かな手がかりになるはずです。</p> | | | |
| Pイ-170-DVD | 今、地域社会と職場の人権は！ | 36分 | 人権全般 | 不明 |
| | <p>この作品は、「増え続ける高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点をあて、だれもが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を発揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけていきます。そして皆が『いきいきと安全で安心できる社会』の取り組みと、共に支え合う「共生社会」の実現をめざす人権問題学習教材用ドラマである。</p> | | | |
| Pオ-120-DVD | お互いを活かし合うための人権シリーズ ① 多様性入門 | 27分 | 人権全般、職場 | 2019年 |
| | <p>企業では、いま、多様性を尊重することへの重要性がますます高まっています。この教材では、多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かし合うことだということテーマに据えています。このテーマについて、身近で誰もが経験しうる事例を丁寧に解説することで、多様性尊重への入門編となるよう制作しました。</p> | | | |
| Pイ-200-DVD | 今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 | 約36分 (ロングバージョン) | 人権全般 | 2022年 |
| | <p>今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。</p> | | | |
| Pイ-201-DVD | 今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 | 約36分 (ロングバージョン) | 人権全般 | 2022年 |
| | <p>今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。</p> | | | |

人権啓発DVD一覧表

人権全般

| No | タイトル | 時間 | 主なテーマ | 製作年 |
|----------------|---|--------------------|---------|-------|
| Pイ-20 2-DVD | 今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 | 約36分 (ロングバージョン) | 人権全般 | 2022年 |
| | 今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 | | | |
| Pイ-20 3-DVD | 今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 | 約36分 (ロングバージョン) | 人権全般 | 2022年 |
| | 今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など全ての人の人権を尊重することが求められています。本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。 | | | |
| Pオ-140-DVD | お互いを活かし合うための人権シリーズ④ 「違い」を「力」にするために一職場のコミュニケーションのヒント | 26分 | 人権全般、職場 | 2020年 |
| | 職場の多様性が進んでいるなか、コミュニケーションのあり方は、「職場の人権」を考える上でもますます注目度を増しています。いまは、お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのか、事例をとりあげながら考えます。 | | | |
| Pカ-100-DVD | 家庭の中の人権 生まれ来る子へ | 25分 | 人権全般 | 2013年 |
| | このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えて行くことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。 | | | |
| Pカ-101-DVD | 家庭の中の人権 生まれ来る子へ | 25分 | 人権全般 | 2013年 |
| | このドラマでは、「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにおける人権問題をクローズアップしました。家庭の中で、人権の尊さについて語りあい、伝えて行くことは、すべての「いのち」を大切にすることでもあります。気づくこと、そして、行動することの大切さを描きます。 | | | |

人権啓発DVD一覧表

人権全般

| No | タイトル | 時間 | 主なテーマ | 製作年 |
|------------|--|-----|-----------|-------|
| Pカ-110-DVD | 家庭の中の人権 カラフル | 31分 | 人権全般 | 2014年 |
| | <p>「”人権”の問題は、”人間”の問題」。気づかずにいると、知らず知らずのうちに他者の人権を侵害してしまうこともあります。そして人権に対する意識の基盤は、家庭の中で育まれていきます。このビデオでは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取り上げました。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとしてお役立てください。</p> | | | |
| Pカ-140-DVD | 家庭からふりかえる人権 話せてよかった | 27分 | 人権全般 | 2020年 |
| | <p>本作では、日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。自分の中にある思い込みに気づき、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。</p> | | | |
| Pコ-150-DVD | 秋桜の咲く日 | 34分 | 障がい者、人権全般 | 2014年 |
| | <p>主任介護士として働くちひろは、新しく入った介護士直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなかつたり、コミュニケーションが取りづらい。そんな中、直也が入居者の乾一成を連れて外出したところ、乾が倒れて意識不明になってしまう。病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。翌日から直也は欠勤。直也の母が退職願を持って「向陽園」を訪れ、直也がアスペルガー症候群であることを告白する。</p> | | | |
| Pシ-191-DVD | 職場の人権～相手のきもちを考える～ | 27分 | 人権全般 | 2008年 |
| | <p>社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、「相手の気持ち」を考えるとどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描く。</p> | | | |
| Pシ-220-DVD | 人権のヒント 地域編 | 25分 | 人権全般 | 2010年 |
| | <p>街の喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」のママのところに、さまざまな思いをいただいた人々が集まってくる。その交流のなかから、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。</p> | | | |

人権啓発DVD一覧表

人権全般

| No | タイトル | 時間 | 主なテーマ | 製作年 |
|------------|---|-----|--------------|-------|
| Pシ-230-DVD | 人権のヒント 職場編 | 22分 | 人権全般 | 2010年 |
| | ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。 | | | |
| Pナ-060-DVD | なぜ企業に人権啓発が必要なのか | 22分 | 人権全般 | 2014年 |
| | 企業にとっての人権啓発とは、何なのでしょう？具体的な人権課題を並べてみましょう。頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材としてご活用いただけるよう制作しました。 | | | |
| Pヒ-100-DVD | ヒーロー | 34分 | 人権全般 | 2014年 |
| | 鶴巻行男は町内会の副会長。秋祭りのヒーローショーで、転倒して腕を骨折する。共働きで忙しいにもかかわらず副会長を引き受けたことへの不満や、ケガをしたことへの心がいなさを妻の恭子にもらす。楽しみにしていた家族旅行もキャンセルになってしまい、リフレッシュ休暇を1人で過ごすことになる。 | | | |
| Pホ-080-DVD | ボクとガク | 42分 | 子ども、高齢者、人権全般 | 2009年 |
| | 希望（のぞむ）と岳（ガク）という二人の子どもと近所に住むおばあさんとの交流を描きながら、子どもの人権と、地域をはぐくむ人権文化というものに目を向けた作品。 | | | |
| Pホ-090-DVD | ほんとの空 | 36分 | 人権全般 | 2012年 |
| | 向井弓枝は、パート先のスーパーで、高齢の客のおぼつかない行動に不快感を持つ。自宅のマンションのエレベータでも、高齢の人や障害のある人に対してイライラを募らせる。弓枝は、面倒な人が多く住むこのマンションではなく、一戸建てや新築マンションに引っ越したいと、夫の勇に訴える。 | | | |

人権啓発DVD一覧表

人権全般

| No | タイトル | 時間 | 主なテーマ | 製作年 |
|------------|---|--------|--------------|-------|
| PE-030-DVD | 桃香の自由帳 | 36分 | 子ども、高齢者、人権全般 | 2011年 |
| | このドラマは、どの地域でも起こりうる出来事に光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人とは寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。 | | | |
| PE-020-DVD | 「よいお年を」(88分)「青葉のころ よいお年を2」(84分) 2枚組 | 2時間52分 | 子ども 高齢者 人権全般 | 1996年 |
| | 介護保険制度が始まる5年前、1995年に、埼玉県坂戸市の民間福祉施設“元気な亀さん”を一年間にわたって追いかけた長編ドキュメンタリー。ステイとデイケアの認知症の老人と、障がいを持つ青年、乳幼児を含む子供、養護学校に通う児童たちが集う。それはまるで、かつての普通の家族のよう。そんな施設の日常を記録しながら、そこで働く人々へのインタビューなどもおりませ、“生きる”ということを見つめ直す。 | | | |
| PW-200-DVD | わたしたちが伝えたい、大切なことーアニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品ー | 31分 | 人権全般 | 2016年 |
| | このDVDでは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。 | | | |
| PW-201-DVD | わたしたちが伝えたい、大切なことーアニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品ー | 31分 | 人権全般 | 2016年 |
| | このDVDでは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした4つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。 | | | |
| PJ-190-DVD | 言葉があるから…～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～ | | 人権全般 | 2023年 |
| | 建築会社で働きながら、土日は両親が経営する花屋を手伝っている千花。ある休日、花束を買いに来た韓国人の男性は「日本語上手」「韓国人男性はロマンチスト」などの言葉に戸惑った様子を見せていた。別の日、新入社員からの結婚の報告を聞いて、先輩社員は「若いのにもったいない」「焦る必要はない」とまくし立てる。また別の日、転職を機に職場で性的指向のことをオープンにしている友人が、「ゲイの人ってこうだよ」と決めつけられることがしばしばあり、返答に困ると話す。そんなある日、「マイクロアグレッション」という言葉に出会った千花は、日頃感じていた様々な違和感がこの言葉に関係していると気づく。同時に、そういった言動を自分もしている可能性があると感じ、どうすればよいか考え始める。 | | | |

